

普 濟 方

第 九 册

嬰 孩

(卷三五八至卷四〇八)

明 朱 橐 等 編

人 民 衛 生 出 版 社

普 济 方
第 九 册
婴 孩
(卷三五八至卷四〇八)
明 朱 橚 等 编

人民卫生出版社出版
(北京市崇文区天坛西里10号)
山东新华印刷厂印刷
新华书店北京发行所发行

850×1168毫米32开本 45 $\frac{3}{8}$ 印张 4插页 1251千字
1958年10月第1版 1983年7月第1版第3次印刷
印数：5,501—15,500

统一书号：14048·1590 定价：7.00元

〔科技新书目37—102〕

出版者的話

本书是明代周定王朱橚所編“普濟方”的儿科部分。原卷次为358—408卷，首載儿科診斷法，次为新生儿护理法和新生儿常見疾病。以后詳列各种儿科病候，包括急性傳染病、胃腸病、寄生虫病以及有关五官、外科等疾病。其中对于痘疹、惊风等病的疗法，尤为詳备。因此，可供学习和研究中医儿科学法的参考。

茲因全书卷帙浩大，特按科別予以分釘，以便讀者选购。但为照顾全书的完整性和各科分类的独立性，凡有关全书的校勘情况，除詳見第一冊“出版說明”外，今将本科的必要說明，簡述如下：

1. 本书是据四庫抄本排印的。

2. 本书除了采用二种四庫抄本进行互校外，并部分核对了明、永乐殘刻本和明抄殘卷。其中有一部分藥用量，四庫本与明刻本有异，为了留供参考，概予并存，凡引据明刻增入的藥用量，加上括弧，以資区别。

嬰孩目次

卷三百五十八 嬰孩門 1	听声音驗病.....68
总論..... 1	辨疑.....69
辨形色 附論..... 4	撮要.....69
小兒面部气色..... 8	論髮际穴.....70
分定五位所屬..... 8	灌葯服法.....70
面上諸候察形歌.....10	論腦麝銀粉巴硝等不可輕用.....70
小兒面部气色总觀.....11	小兒四时葯 拔粹.....71
虎口三关指掌.....11	新生兒戒灸.....71
活幼口議詩.....11	卷三百六十 嬰孩初生門72
三关詩.....12	总論.....72
三关紋色形狀.....13	辨小兒初受气.....72
三关指紋要訣.....13	相貌寿法.....72
虎口手紋脈訣.....14	論初生諸疾並治法.....73
指脈紋色样.....15	論新生將护法.....75
脈指訣歌.....15	論乳兒法.....78
驗五臟气絕証.....16	乳生病杂治.....78
辨表里諸証及治法.....17	初生方法.....80
五臟标本.....27	小兒面部气色总觀.....83
卷三百五十九 嬰孩門30	虎口三关指掌.....84
五臟伏敌喜伤 附論.....30	孩子要用葯物.....87
五位分部定位 附論.....30	藏衣法.....87
辨小兒脈法.....32	臍風撮口 附論.....91
形候驗病詩.....34	卷三百六十一 嬰兒初生門 101
湯氏杂病形証歌.....38	胎寒 附論..... 101
病症疑难.....41	胎热 附論..... 103
証候發端.....48	胎惊 附論..... 104
审小兒得病之源.....53	胎風 附論..... 105
病源歌.....57	胎黃 附論..... 111
湯氏惡候形証歌.....66	变蒸 附論..... 112
不治候歌.....66	惊啼 附論..... 118
不治証.....68	夜啼 附論..... 124

軀啼附論	131	青盲外障附論	194
盤腸氣癆啼附論	133	疳眼外障附論	195
惊風內癆啼附論	136	癢瘡入眼外障附論	197
胎寒胃冷啼附論	138	緣目生瘡附論	198
胎熱伏心啼附論	139	耳疾總論	199
邪于心痛啼附論	140	耳聾附論	200
心腹痛啼附論	141	聾耳附論	201
乳食作痛啼附論	142	耳瘡附論	205
小兒不喫乳附論	143	百虫入耳	206
卷三百六十二 嬰孩五臟門	145	鼻塞不通附論	208
總論	145	小兒鼻鼈塞附論	210
心臟附論	146	鼻衄附論	210
肝臟附論	147	小兒腦熱鼻干無涕附論	212
脾臟附論	148	小兒鼻多濁涕附論	214
肺臟附論	151	鼻疳瘡	215
腎臟附論	152	卷三百六十五 嬰孩唇舌口齒	
卷三百六十三 嬰孩頭眼		咽喉門	217
耳鼻門	154	唇瘡等疾附論	217
頭瘡附論	154	口瘡等疾附論	219
頭不生髮附論	165	舌腫等疾附論	234
解顛附論	167	卷三百六十六 嬰孩唇舌口齒	
顛填陷附論	171	咽喉門	241
顛風傷寒附論	172	牙齒疼痛等疾附論	241
眉瘡附論	173	咽喉等疾附論	247
眼目附總論	174	中風口噤附論	252
雀目附論	175	語音不出等疾附論	258
治眼胎赤痛附論	178	卷三百六十七 嬰孩諸風門	263
目赤腫痛附論	180	總論	263
卷三百六十四 嬰孩頭眼		中風附論	265
耳鼻門	187	中風失音不能語附論	274
眼生翳膜附論	187	中風不隨附論	277
目偏視通睛附論	192	中風口喎斜僻附論	279
眼臉生贅附論	193	中風四肢拘攣附論	280

中風痙病 附論.....	281	總論.....	507
卷三百六十八 嬰孩傷寒門.....	285	候痢法.....	509
總論.....	285	一切痢.....	513
傷寒咳嗽 附論.....	309	卷三百七十七 嬰孩一切痢門...	535
傷寒余热 附論.....	311	癩痢 附論.....	535
傷寒熱渴 附論.....	312	風痢 附論.....	548
傷寒挾實 附論.....	313	食痢 附論.....	54
夾驚傷寒 附論.....	314	熱痢 附論.....	553
卷三百六十九 嬰孩傷寒門.....	320	卷三百七十八 嬰孩一切痢門...	556
夾食傷寒 附論.....	320	驚痢 附論.....	556
時氣 附論.....	326	痢瘥復發 附論.....	576
傷風 附論.....	329	痢瘥身面腫 附論.....	577
瘟病 附論.....	331	痢瘥不能語 附論.....	578
熱病 附論.....	342	截痢法 附論.....	579
發黃 附論.....	345	卷三百七十九 嬰孩諸疳門.....	584
傷暑 附論.....	346	總論.....	584
卷三百七十 嬰孩驚風門.....	349	治小兒一切疳 附論.....	589
急驚風 附論.....	349	卷三百八十 嬰孩諸疳門.....	611
卷三百七十一 嬰孩驚風門.....	370	治小兒一切疳.....	611
慢驚風 附論.....	370	二十四候.....	630
卷三百七十二 嬰孩驚風門.....	400	卷三百八十一 嬰孩諸疳門.....	637
慢脾風 附論.....	400	急疳 附論.....	637
慢肝風 附論.....	409	腦疳 附論.....	648
驚悸 附論.....	409	口齒疳 附論.....	651
天癆驚風 附論.....	413	疳瘡 附論.....	656
卷三百七十三 嬰孩驚風門.....	423	爛疳 附論.....	659
總論.....	423	內疳 附論.....	660
一切驚風.....	428	眼疳 附論.....	662
卷三百七十四 嬰孩驚風門.....	453	鼻疳 附論.....	664
一切驚風.....	453	食疳 附論.....	667
卷三百七十五 嬰孩驚風門.....	479	卷三百八十二 嬰孩諸疳門.....	670
急慢驚風 附論.....	479	氣疳 附論.....	670
卷三百七十六 嬰孩一切痢門.....	507	風疳 附論.....	673

惊疖 附論·····	675	水腫 附論·····	801
脊疖 附論·····	682	卷三百八十七 嬰孩咳嗽喘門 ·····	805
蛔疖 附論·····	684	总論·····	805
干疖 附論·····	687	欬嗽 附論·····	806
漏疖 附論·····	691	欬逆上气 附論·····	818
卷三百八十三 嬰孩諸疖門 ·····	693	欬嗽咽喉作呀呷声 附論·····	828
疖瀉 附論·····	693	痰实 附論·····	832
疖渴不止 附論·····	697	喘 附論·····	838
無辜疖 附論·····	702	卷三百八十八 嬰孩大小便	
疖蠶 附論·····	708	淋秘門·····	841
五疖出虫 附論·····	711	淋秘 附論·····	841
卷三百八十四 嬰孩諸熱疔		石淋 附論·····	847
腫門·····	718	血淋 附論·····	848
諸熱 附論·····	718	遺尿 附論·····	850
心熱 附論·····	736	尿血 附論·····	852
惊熱 附論·····	739	白濁 附論·····	854
胃熱 附論·····	749	小便赤澀 附論·····	855
骨熱 附論·····	751	小便不通 附論·····	856
卷三百八十五 嬰孩諸熱疔		秘結 附論·····	860
腫門·····	757	大便不通 附論·····	862
風熱 附論·····	757	大便血 附論·····	865
壯熱 附論·····	764	大便青 附論·····	867
溫壯 附論·····	771	卷三百八十九 嬰孩諸血	
煩熱 附論·····	774	痔疾門·····	869
潮熱 附論·····	776	总論·····	869
卷三百八十六 嬰孩諸熱疔		吐血 附論·····	870
腫門·····	781	鼻衄 附論·····	872
熱渴 附論·····	781	九竅出血·····	875
寒熱往來羸瘦 附論·····	782	痔 附論·····	875
寒熱結实 附論·····	785	卷三百九十 嬰孩心腹痛	
冷熱不調 附論·····	786	等疾門·····	878
黃疸病 附論·····	788	心腹痛 附論·····	878
諸腫 附論·····	791	瘡疾 附論·····	882

渴疾 附論	894	吐利 附論	1041
盜汗 附論	897	霍亂 附論	1068
卷三百九十一 嬰孩癰積		乾霍亂 附論	1079
脹滿門	905	霍亂心腹痛 附論	1080
總論	905	卷三百九十六 嬰孩下痢門	1082
諸癰結脹滿	909	一切痢 附論	1082
食積 附論	922	一切痢久不瘥 附論	1092
癰氣 附論	924	久痢羸瘦 附論	1035
卷三百九十二 嬰孩癰積		暴痢 附論	1096
脹滿門	933	胃風腹脹泄痢 附論	1097
乳癰 附論	933	冷熱痢 附論	1098
疔氣 附論	941	冷痢 附論	1099
痞結 附論	943	卷三百九十七 嬰孩下痢門	1105
積聚 附論	947	熱痢 附論	1105
傷飽 附論	965	赤白痢 附論	1109
卷三百九十三 嬰孩癰積		久赤白痢 附論	1120
脹滿門	968	瀉痢 附論	1121
宿食不消 附論	968	血痢 附論	1122
腹脹 附論	976	膿血痢 附論	1127
丁奚腹大 附論	983	卷三百九十八 嬰孩下痢門	1131
哺露 附論	988	疳痢 附論	1131
脾胃不和 附論	990	無辜疳痢 附論	1144
羸瘦 附論	1001	疳痢久不瘥 附論	1145
卷三百九十四 嬰孩吐瀉門	1003	疳痢腹脹 附論	1149
總論	1003	疳痢下部濕脹 附論	1150
吐哕 附論	1010	蠱毒痢 附論	1151
噦逆 附論	1014	洞泄注下 附論	1152
嘔吐 附論	1017	水穀痢 附論	1158
卷三百九十五 嬰孩吐瀉門	1036	噤口痢 附論	1159
冷吐 附論	1036	下痢煩渴 附論	1159
熱吐 附論	1037	脫肛 附論	1164
夾驚吐 附論	1039	卷三百九十九 嬰孩諸疳諸蟲	1170
毒氣吐 附論	1041	諸疳 附論	1170

- 陰腫 附論·····1173
- 偏癩 附論·····1178
- 癩疔 附論·····1179
- 諸蟲 附論·····1182
- 蛔蟲 附論·····1191
- 蟻蟲 附論·····1196
- 寸白蟲 附論·····1196
- 卷四百 嬰孩雜病門**·····1198
- 雜病 附論·····1198
- 魃病 附論·····1205
- 白虎病 附論·····1207
- 尸注 附論·····1208
- 中蠱 附論·····1211
- 中惡 附論·····1213
- 卷四百一 嬰孩雜病門**·····1215
- 客忤 附論·····1215
- 中馬毒 附論·····1222
- 卒死 附論·····1222
- 卒腹皮青黑 附論·····1223
- 五硬五軟 附論·····1224
- 手拳不展 附論·····1226
- 脚拳不展 附論·····1227
- 行遲 附論·····1227
- 鶴節 附論·····1229
- 龜背龜胸 附論·····1229
- 誤吞諸物 附論·····1231
- 食治諸病 附論·····1233
- 落床損痰 附論·····1235
- 卷四百二 嬰孩痘疹門**·····1238
- 總論·····1238
- 治痘法 十二事·····1244
- 痘痘避忌者十·····1245
- 痘痘可畏者十·····1246
- 論痘痘約日訣·····1247
- 辨痘疹諸證·····1247
- 辨認痘疹斑痘丹毒
- 證治不同醫者詳察·····1265
- 卷四百三 嬰孩痘疹門**·····1270
- 一切痘疹 附論·····1270
- 辨小兒痘證·····1271
- 痘疹已出未出 附論·····1282
- 痘疹未見方可疏利 附論·····1286
- 痘疹出不快 附論·····1289
- 痘疹未見方可表發 附論·····1297
- 痘疹壯熱煩渴 附論·····1300
- 痘疹大盛 附論·····1303
- 卷四百四 嬰孩痘疹門**·····1306
- 痘疹大小便不通 附論·····1306
- 痘疹倒靨 附論·····1307
- 痘疹發斑 附論·····1314
- 痘痘攻咽喉 附論·····1316
- 痘疹吐利 附論·····1318
- 痘疹入眼 附論·····1319
- 痘疹便膿血 附論·····1330
- 痘疹後解餘毒 附論·····1330
- 痘疹後滅癍痕 附論·····1334
- 卷四百五 嬰孩諸瘡腫毒門**·····1338
- 癰疽 附論·····1338
- 癰瘡 附論·····1343
- 毒腫 附論·····1346
- 癰 附論·····1348
- 瘰癧 附論·····1351
- 惡核 附論·····1356
- 癰氣 附論·····1357
- 風癩癰疹 附論·····1358
- 卷四百六 嬰孩諸瘡腫毒門**·····1364

五色丹毒 附論·····	1364	浸淫瘡 附論·····	1412
遊腫赤痛 附論·····	1385	漆瘡 附論·····	1413
卷四百七 嬰孩諸瘡腫毒門·····	1389	卷四百八 嬰孩諸瘡腫毒門·····	1416
赤瘡 附論·····	1389	王爛瘡 附論·····	1416
身有赤處 附論·····	1391	頭面身體生瘡 附論·····	1417
燥瘡 附論·····	1392	蠛蠓繞腰腹成瘡 附論·····	1421
疥 附論·····	1393	代指 附論·····	1422
癬 附論·····	1395	癩瘡 附論·····	1422
月蝕瘡 附論·····	1399	湯火瘡 附論·····	1423
熱瘡 附論·····	1401	癘瘡 附論·····	1426
臍中瘡 附論·····	1402	白禿瘡 附論·····	1427
凍爛瘡 附論·····	1404	瘦瘡 附論·····	1430
陰瘡 附論·····	1406	疣目瘡 附論·····	1431
惡瘡 附論·····	1407	諸瘡 附論·····	1433
魚臍瘡 附論·····	1411	諸蟲咬傷·····	1438

普濟方卷三百五十八

嬰孩門

總論

夫醫之道誠爲難矣。而治小兒爲尤難理。寧醫十丈夫莫醫一婦人何也。丈夫者營衛氣壯。婦人血脈相衝。兼產難治。千金云。婦人之病。比男子十倍難療。寧醫十婦人莫醫一老人何也。婦人者氣血尙盛。老人元陽枯竭。氣血皆衰。故老人爲難治。寧醫十老人莫醫一不語小兒何也。老人雖元陽枯竭。氣血皆衰。疼痛即能言。小兒不能言。精神尤未備。骨肉尤未堅。形聲尤未正。脈息尤未全。所以難治者。語不能問其得病之由。脈不能診其必然之理。故黃帝云。若吾不能察其幼小也。寶鑒云。冠壯易明。幼童難治。活幼論危氏得效方云。嘗謂木有根莖。水則有源。根莖盛則枝葉暢茂。源深則其流必長。小兒稟父母元氣而生成。元氣盛則肌膚充實。驚疳積熱無由而生。風寒暑濕略病即愈。元氣虛則體質怯弱。諸證易生。所患輕則藥能調治。所患重則可治者鮮。故試啐之後。或不能言。或不能行。或手拳不展。或髮不生。斯猶可治。甚則初生之時。臍風撮口吊腸等證。鎖肚重舌。無聲舌焦。遍體青黑。如此病狀。非急療則百無一活。若其餘諸病不一。治之之道。當觀形察色聽聲切脈。觀形則先觀其眼。若兩眼無精光。黑睛不運轉。目眴無鋒芒。如魚眼猫眼者不治。或神藏於內而外若昏困。神氣不悅。則豈無再活之理。察色者。若面目俱青。眼睛竄視。此爲驚邪入肝。面紅頰赤。惕恐夜啼。則驚邪入心。面青惡叫。嚙奶咬牙。乃驚邪入腎。面色淡白。喘息氣乏。則驚邪入肺。面黃嘔吐不食。虛汗多睡。乃驚邪入脾。皆隨其狀而治之。聽聲。則睡中驚啼。聲浮者易治。聲沈不響者難痊。或聲如鴉中彈者不治。至於切脈。虛則細而遲。實則洪而數。次當看紋候。男左女右手辨之。從虎口內至第一節是風關。第二節是氣關。第三節是命關。第一節風關。赤紋乃飛禽內外驚。赤紋微乃火驚。黑則水驚兼打撲驚。

青色乃天雷四足驚。內隱青紋微屈。則是急風候。紋彎乃停食候。第二節氣關。紫色紋是驚疳。青色紋乃疳傳肝經。白則疳傳肺經。若黃色乃傳脾經。黑色難安。第三節命關。青黑紋現。三關通度。斜歸指甲則不治。至於驚疳積熱四證。驚者。虛惕怔忡。氣怯神散。痰涎來去。其瀉必青。積漸生風。其證有冷熱虛實。冷則燥之。熱則涼之。虛則溫之。實則利之。是爲活法。急驚之候。通關截風定搐去痰。其熱尙作。則當下之。一泄已後。急須和胃鎮心。不可過用寒涼等劑。其或口中出血。兩足擺跳。腹肚搐動。摸體尋衣。神昏氣促。噴藥不下。通關不嚏。心中痛絕。忽大叫者難愈。慢驚之候。宜於生胃氣藥。和以截風定搐。不可太燥。其或四肢厥冷。吐瀉加嗽。面黯唇慘。胃痛鴉聲。口生白瘡。髮直搖頭。喘急涎鳴。口眼手足一邊牽引者難愈。慢脾十救一二。只當生胃回陽。如太衝脈在則取百會穴。多灸之。若身冷粘汗直臥如屍。喘嗽頭軟。大小便不禁。虛痰上攻。呼吸氣粗。脈來浮數。是謂陰盛強陽。錯認陽氣已復。直與峻藥下痰。痰隨氣下。人以醫殺咎之。此則覆燈將絕之證。雖不藥亦無生意矣。又有喉中痰涎。聲如拽鋸。一兩日間。閉目不開。此爲虛痰。保養其氣。勿遽下痰。亦未可保。蘇合香白丸子輩姑與之。瘧病發痢天癘。亦風之種類。舉身僵仆。有汗不惡寒。手足冷。口噤爲柔瘧。無汗惡寒身反張。咬嚙爲剛瘧。得之未易施治。諸痢八證。馬痢張口搖頭。馬鳴反折。羊痢喜揚吐舌。犬痢手屈兩足拳攣。鷄痢搖頭反折。并屬陽。猪痢口吐涎沫。振目視人。牛痢目視腹脹。烏痢唇口撮聚。手足俱搖。蛇痢身軟頭舉。吐舌視人。并屬陰。治法須辨其冷熱。順氣平血。豁痰除風。其或目睛不轉。口噤無聲。唇面青黑。肚脹不乳。身熱下血。厥逆吐利。汗出壯熱不止。體軟不睡。眼生白瘴。不治之候。天癘者壯熱翻眼。手足搐掣。如魚之上鉤。皆由乳母過食熱毒。過復乳兒兼挾風邪所致。但當解利風熱。則應手而愈。驚風諸證。有不可治者。總而論之。項筋無力。魚口氣粗。嚙齒咬人。瀉下如瘀血。手足搐搦不停。目似開不開。身軟口噤不食。木舌乾澀。反張。脊強。顛陷不動。啼不作聲。冷汗如雨。慢脾。灸不醒。視物不轉睛。眼上赤脈。雖虛屍復生。亦無如之何。若疳候。兒童二十歲已下爲疳。二十歲以上爲癆。

癆與疳皆氣血虛憊。臟腑受傷。故有肝心脾肺腎五疳。外有蛔疳。脊疳。腦疳。乾疳。疳渴。疳瀉。疳痢。腫脹疳癆。無辜疳。丁奚。哺露。治之各有方。其病多因乳哺失常。腸胃停滯。或妄服吐下藥。津液內竭而得之。故其爲候。頭皮光急。毛髮焦稀。顛縮鼻乾。口淡唇白。兩眼昏爛。揉鼻擤眉。脊聳體黃。鬪甲咬牙。焦渴自汗。漩白瀉酸。肚脹腸鳴。癍結潮熱。或身多瘡疥。酷嗜瓜果。鹹酸。炭米。泥土。多飲水者。皆其證也。惟腎疳害人最速者。蓋腎虛受邪熱。疳氣奔上焦。故以走馬爲喻。初作口氣次第齒黑。盛則齩爛熱血迸出。甚則齒脫。宜急治之。縱得全活。齒不復生。其餘諸疳。如或飲水不止。滑泄不休。舌上黯黑。目睛青筋。眼角黑氣。小便如乳。牙黑骨枯。脫肛。咳逆氣促。身上粟生斑黑。唇白腹高。人中平滿。抱着手足垂蹶無力。襯着脚心。全不知疼。身體變冷。爲五絕。積者。面目浮黃。肚緊脹痛。覆睡多困。酷啼不食。或大腸秘澀。小便如油。或便利無禁。糞白酸穢。皆其證也。其或面黑瀉黑。肚腸泄下不止。氣粗身必有瘡。瘦弱柔軟。亦莫能療。熱之爲病。有實有虛。實者兩臉深紅。唇口紅紫。燥渴焦煩。大小便難。啼叫無時。身發極熱。虛者面色青白。恍惚微潮。口中清冷。泄瀉虛汗。或乍冷乍溫。上壅下利。水穀不分。乃冷熱不調。外有十證。熱者潮熱如瘧。風熱不減。乳食積熱多吐。傷寒脚手冷。耳鼻脚梢手指尖冷。乃麻疹之證。唇汗口珠。乃變蒸候也。多瀉多渴。疳之爲熱。面青脈大。驚熱的矣。脾痛啼聲不息。瘡毒瞭然。目閉面如丹。胎中全不受熱。諸吐乳食不化。面色黑。隨食隨吐。通身冷則爲不治。諸瀉日久不宜緊澀之藥卒止。先須調氣和中。若洞瀉不止。乳食不進。無有愈期。汗多舌出。唇紅眼閉。搖頭氣粗。兩脅動。口生血瘡。吐瀉得之。名曰胃爛。天亡轉盼。至於八痢。則有魚口。噤口。五色。脫肛。臟毒。脾毒。冷積。疳痢。無非便下膿血。裏急後重。臍腹急痛。日夜無度。治之須究其因。先以去積寬腸通氣之劑。續爲之斷下。鮮有不愈。其或所下如魚腸血水。壯熱煩渴。不食自汗。小便不利。未知有瘳。一瘡疹一證。乃表虛裏實。其根於臟腑。所患之重。麻疹表實裏虛。其根於皮膚。所患之輕。不治亦自愈。至若痘疹。多因時令不正。氣候轉染。加之外感風寒。內積邪熱而得。大抵與傷寒

相類。發熱煩燥。臉赤唇紅。身疼頭痛。耳鼻脚梢手中指俱冷。噴嚏呵欠。喘嗽痰涎。或乍寒乍熱。疑似之間。當視其耳後有紅脈赤縷。及見心胸間細點如粟起爲眞。首尾不可汗不宜溫涼之劑。解毒和中安表。大要如抱人作籠炊樣。務得鬆耳。其或熱極生風。或發驚搐。但當清心散風。切不可投冷驚之藥及灼艾。蓋灼則火助熱熾。投冷驚藥則毒氣內伏反爲大害。仍忌諸般臭穢煎炒油烟。父母行房。梳頭等。觸犯未發而觸。則毒氣入心。悶亂而死。已發而觸。則瘡痛如割。以至黑爛。切宜禁戒。仍燒帶諸香。及打醋炭。噴胡荽酒於遍房以辟穢濁之氣。却不可以田舍兒不忌無恙爲常法。病此者多不服藥。豈知未發已發則合解散。正發則合活氣血。若依此非惟出踈。亦易乾斂。仍免後慮。若不依此。則邪盛瘡密。收亦費力。餘毒爲患。致生癰疽疥癩。赤眼咽喉口瘡之疾。至於善惡之證。猶當細認。如善證則乳食如常。大便或一日一次。或兩日一次通者。只須用和。不冷不熱之藥自保十全。如惡證則春夏屬陽爲順。秋冬爲逆。冬月寒腎水得時。多歸於腎。或先如瘡後發渴。其瘡色如黯血。此腎證也。不治。春膿疱爲金剋木。夏黑陷爲水剋火。秋斑子爲火剋金。冬疹子爲土剋水并逆。鼻有黑氣或舌黑。瘡已出而謔語燥渴。小便澀。泄瀉。不入食。瘡成餅。塌黯慘不發。其聲焦啞。兩眼閉而黑睛矇昧。面腫鼻陷。目閉頻嚙齒。頭面腫硬。胸高而突。以上證狀。均不可治。外此至於風寒暑濕之感。與大人無異。治之法。特劑量差少耳。雜證則隨方備治。

辨形色 附論

全嬰方論云。夫嬰兒未能言。有病固難治也。唯察形色而已。蓋形有五。色應其五臟。五色青黃赤白黑。五臟心脾肝肺腎。心赤肝青脾黃肺白腎黑。是五臟所主。人蘊其內。必形於外。故小兒有病先見於面部也。如形病不相應者。更切脈聽聲。

分五臟五色。應面部形骸左頰屬肝。東方之應。其位居左。脈訣云。色青形象木。位列在東方。右頰屬肺。西方之應。其位居右。脈訣云。兌爲八卦地。金屬五行牽。額上屬心。南方之應。火性炎上。脈訣

云。象離隨夏旺。屬火向南生。鼻上屬脾。中央之應。其位居中。脈訣云。旺時隨四季。自於土爲根。下頰屬腎。北方之應。水性潤下。脈訣云。旺冬身屬水。位北定無疑。難經曰。五臟有五色。皆見於面。素問云。神之變也。其華在面。又云。視其五色。黃赤爲熱。白爲寒。青黑爲痛。此所謂視而可見者也。錢氏云。左頰爲肝。右頰爲肺。額上爲心。鼻上爲脾。下頰爲腎。赤者熱隨證治之。

定四季色。各歸部位驗病。春色。左頰微青者平。深青者病。白色者絕。夏色。額上微赤者平。深赤者病。黑色者絕。秋色。右頰微白者平。深白者病。黑赤色者絕。冬色。下頰微黑者平。深黑者病。黃色者絕。季色。鼻上微黃者平。深黃者病。青色者絕。季色者。四季月各其十八日。土旺脾。

分五臟面部病證額上心證。赤色者心經有風熱。主心躁驚悸。睡臥不安。青黑色心中有邪。主驚風腹疼。寶鑿云。心乃中邪。手瘦癢而啼叫。青黑甚則心腹疼。微黃色皮乾燥。主盜汗。頭髮乾黃燥主驚疳。骨熱微渴。王氏云。毛髮黃必時復發熱故也。左臉肝證。赤色身熱拘急。肝風熱也。青黑主驚。或腹痛。淺赤潮熱心躁。有一等小兒。夜間潮熱。日中面臉不赤。必唇紅乾燥。恐驗不真。兼診脈。緊數。右臉肺證。赤色身熱。淺色潮熱。或大便堅而氣粗壅嗽。青白色主咳嗽惡心。青色主風入肺。時時嗽。青黑主驚風欲發。或腹疼盤腸內吊。鼻上脾證。赤色身熱。不思飲食。深黃色小便不通。鼻孔乾燥。氣粗主衄血。鼻孔乾燥不氣粗是肺熱。夜間多哭。鼻上淡白色。主泄瀉食不化。王氏云。鼻青主吐奶。鼻口乾燥主大小便不利。下頰腎證。赤色主裏有熱。則水道不利。令小便不通。

分面部雜病證面目證。青色驚。肝風熱。赤色心肝熱。主煩躁風熱。黃色主脾積口臭。不食。目鮮主驚。目眨肝風熱主驚。目胞浮腫。主久嗽惡心。如不嗽主疳食積。夏秋大便不調。春冬主骨熱。或時腹痛。亦主夜起。王氏云。兩目胞腫。早晚面浮。是脾受積。目睛黃赤主早晚發熱。兩目深沉色微黑。眼睛微赤。主耳聾聾耳。是疳氣攻腎。眼尾有細碎紅紋。主驚風內吊。已上四證。王氏云。眼矇矇。主肝熱。多變雀目。其狀黑睛外如金線緣是也。靈秘云。盛熱眼矇矇。又曰睛

黃。臟腑有積。寶鑒云。青在兩眼是驚欲發。在左上必多驚悸。右上風入肺爲嗽。脈要云。目赤偏多怒。孫真人云。揩拭眉眼是欲生風。印堂證青黑色主腹疼夜啼。如傷風主頭疼。不傷寒主久痢。靈秘云。痢候眉頭皺。王氏云。眉心中淡。白色主泄瀉。糞白食物不化。人中證。寶鑒云。人中左右兩邊黃。主傷食。人中下青。主乳不化。便青唇口證。唇白主吐涎嘔逆。亦主吐血便血。唇紅赤乾燥而皺者主渴。唇紅赤不皺主口臭大便不通。夜間心躁不睡。紅乾而燥主熱。王氏云。口臭唇黃脾受積。後必發腫。亦主夜起。糞白不化。又云。唇紅口紫吐涎主蟲痛。飛仙論云。唇口紫不吐涎是積痛。千金云。唇纈赤主心熱口舌生瘡。至聖訣云。唇紅赤主衄血。唇白亦然。唇口動主驚熱。靈秘云。口滴清水欲生重舌。又主口瘡。有一等小兒。脾冷流涎。下顎常濕。名滯頤。不在此條。錢氏云。口頻撮氣不和。益黃散。又云血虛怯。爲冷所乘則唇青。孫真人云。唇青主脾寒。或時肚疼。乳食減少。舌上證。舌乾舌黑舌燥舌胎黃舌赤腫主大便不通。設或通利大便必焦黃。舌裂舌上芒刺舌上出血皆極熱陽毒也。舌上生瘡。心脾熱。舌捲主驚。有久瀉痢。舌黑必潤。不可認爲熱。蓋久痢上焦虛。久瀉舌黑者多死不治。氣噎證。氣噎不通。必主驚候。靈秘云。噎欠須知死。歎氣、哽氣、下氣、頻呵欠、主驚。兩耳證。王氏云。耳前微赤主耳聾。微黃主腎驚。睡中咬牙耳輪乾燥黑。主疳骨蒸熱。

分面色相兼病證。面青淡白主惡心。不食驚瀉。面青白主吐瀉。靈秘云。主驚風欲發。又云。面青唇白主軀身哭。脾受邪。王氏云。面青唇白主吐奶不化胃冷。難經云。外證。面白喜噦。悲愁不樂只欲哭。面青黑色。吐沫者蟲痛。不吐沫者食積痛。亦主驚。靈秘云。主天吊風。面青通身熱發躁。多變痢疾。面青有汗。口內氣熱。必發吊痛。面黃夜臥盜汗。面青黑或時吐沫者客忤。面青臉赤主壯熱驚搐。面青白黑往來不定。主心腹痛發渴無時。寶鑒云。臉赤面黃白主心疳壯熱。千金云。面赤目黃主小便不禁。通真子云。面青筋急或多瞋閉目。唯思不見人。面紅赤色。主傷寒發熱。心躁不安。若眼鮮欲驚發狂。靈秘云。主身熱傷風。又云。面紅變易主驚搐。通真子云。面赤心煩仍喜笑。面黃臉赤主傷寒。潮熱驚搐睡臥不安。如肉內微微赤者。